

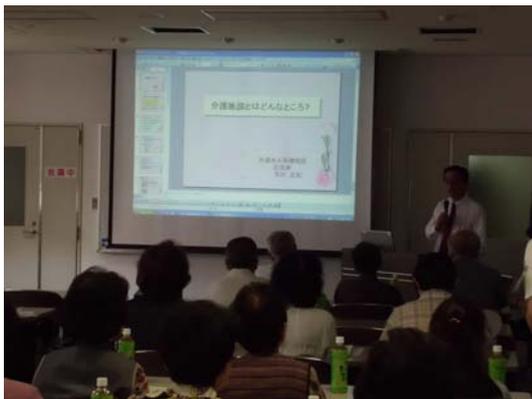


<http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

## 地域交流の講演会を実施して

介護老人保健施設 記念寿  
事務 早川 正紀

「記念寿を利用するにはどうすれば良いのか?」



「病院に入院しているのだが次の施設を捜してください、といわれたのだがどうすれば良いのか分からない」

等よく聞かれる質問です。そのようなことから今回本川地区老人会の協力を得て、

- ① 介護施設・介護サービスについて
- ② 認知症介護について

の講演会を、6月13日(水)午後2時より、広島記念病院講義室にて実施しました。

記念寿として初めての経験で、果たして聞きに来ていただけるのか心配しましたが、梅雨の間の晴れの天候にも恵まれ、35名の方が集まっていただきました。

私自身も介護については知識や経験も浅く、分からないことも数多くあり、利用者の立場から話をしてみました。

認知症介護については、広島市認知症アドバイザーの介護福祉士が分かりやすく解説。そして記念寿で実施している運動等も織り交ぜて話し、理解度のポイントも高い評価であった。

今後も高齢化が進み、私を含めた団塊の世代が介護を必要とする年齢になった時に、医療と介護の地域包括ケアが完成されているのを願うばかりです。

講演後のアンケートでも交流会を希望されている意見が多数あり、広島記念病院の力添えを得ながら、利用者の立場に立った企画を継続実施していこうと思います。



# 女性のライフサイクルと閉経

広島記念病院 産婦人科  
吉本 真奈美



女性は男性に比べ平均寿命が6年も長く長寿ですが、

[寿命] から[介護年数]を引いた[健康寿命]は男性より短いのが実情です。

これらの事は健康寿命を損なう [寝たきり]の原因として、1位が男女とも脳血管障害ですが、第2位の骨折、運動器疾患が、男性に比べ高いことが原因と考えられています。

骨粗鬆症の有病率は男性にくらべ3倍と言われ、骨粗鬆症は閉経後女性の疾患といっても言いすぎではない状況のようです。

思春期～妊娠～出産～閉経といったさまざまな変化の中、女性特有の子宮や卵巣の病気 人には相談しにくい尿もれや子宮脱など、体の変化に対応しながら、骨折もなく、自我を保ちながら順調に老いていくことは至難の技です。

仕事柄 様々な女性の一生を見るにつけ、自分のあるべき老いの姿がイメージできている女性の中には、60歳にさしかかっても女性ホルモン療法を継続している方が最近少しずつ増えている気がします。

その多くは のぼせ ほてり、イライラなどの、一般的に更年期症状の改善目的でホルモン療法を開始した女性たちですが、継続していく中で「様々なアンチエイジング効果」の実感があるようです。

- ① 同年齢の友達にいつまでも元気で若々しいと言われる。
- ② 肌の色艶がいいと言われる。
- ③ 自分も元気を実感している。

時にはホルモンとは関係ないのでは？ と思う改善点を言われる女性もいますが、この分かりやすさが、私を含め多くの女性には大切だと思います。

「骨粗鬆症を予防して寝た切りにならないようにしましょう！」

そのことは取りも直さず、多少のリスクは自己責任として、健診等で管理をしながら、女性力を損なわず、骨折のない健康寿命をまっとうしたい気持ちの表れかな？と思います。

以前は、ホルモン補充療法 ⇒ 婦人科癌リスクUP ⇒ 悪いことだ！

の構図ばかりが、先行していましたが、現在では選択できる、閉経後のライフスタイルの自己表現のようなイメージをうけます。

さまざまな悩みを持たれる女性に対して、より本人の意向を理解し 傾聴しアドバイスや治療をこころがけ、真摯に医療に取り組みたいと、いまさらながら思います。

## すくすくサークル 七夕会開催



7月6日(金) 1日早いですが当院3階講義室にてすくすくサークル七夕会を開催しました。

天気の悪い中、11組のお母さんと赤ちゃんが参加してくれました☆

みんなで手遊びや、お母さんと赤ちゃんのできる体操を行いました♪

お母さんと一緒に手遊びをしたり、抱っこされて体操すると、みんな喜んでニコニコでしたね (^\_^) v

足型をとって素敵な七夕会の記念作品もできました♪♪♪

みんなが元気に成長してくれますように☆短冊に願いを込めて・・・☆

## 看護の日

看護部 小田美佐子



5月12日はナイチンゲール誕生の日で看護の日とも呼ばれています。広島記念病院でも毎年その日に健康相談などのイベントを行っています。しかし、今年の5月12日は土曜日だったため、代わりに15日に当院1階フロアにて骨密度、体脂肪率などの測定や、栄養師、ソーシャルワーカーによる健康相談を行いました。近隣の方々、入院中の患者様、ご家族など40名の参加がありました。

骨密度や体脂肪率など、普段なかなか測る機会がないので大変喜んでいただきました。また、健康志向の傾向なの

か、管理栄養士の説明に耳を傾けてくださるかたも多く見受けられ好評でした。服薬内容の不安のある方には薬剤師が対応しました。

自分の身体について、知ろうとする気持ちは健康維持への第一歩だと思います。来年度以降もこのイベントで、来院された方々の健康維持、増進に協力させていただけたら幸いです。



## 広島記念病院 「ころネット」を利用して

落久保外科循環器科クリニック

落久保 裕之



私たち地域のかかりつけ医に患者さんが期待されることの一つが「専門病院と繋がっていること」です。入院治療や専門的な検査・診断が必要な時、信頼できる病院をスムーズに紹介できることは、かかりつけ医に通院されている患者さんにとって大きな安心となります。また、患者さんが紹介した病院から戻られた時、受けられた検査や治療についての説明や病気について今一度の相談を希望されることも多く経験します。広島記念病院に紹介させていただいた患者さんの場合、私たちのところに戻られる際にはいつも丁寧な紹介状と詳細な検査報告書をお持ちいただきますので、治療や検査結果の再説明はとてもスムーズに行えてきました。一方で最近は患者さんとコンピューター

のモニターの画面を一緒に見ながら、レントゲンや血液検査を説明することが多くなっています。自院の検査だけでなく、病院で行われたCTやMRIなどはCD-ROMなどでいただくことも多くなり、しっかりと患者さんの目で確認した説明ができるようになってきました。私たちが必要な画面を選び、一緒に見ることにより、患者さんに理解、納得していただくことも容易となります。

広島記念病院が始められた「ころネット」では、その診療情報共有がインターネット回線を介して簡単に行うことができます。患者さんに登録のご同意をいただき、記念病院に送ることで、記念病院で行っていただいた血液検査やレントゲンなどはもとより、内視鏡や超音波のすべての画像、所見などをリアルタイムにみることができます。さらに手術所見、投薬内容なども確認でき、紹介して入院していただいた患者さんの状況を把握することも可能です。

広島記念病院に行かれた患者さんが当院にお戻りになり、一緒に振り返る時、紹介状とともに「ころネット」を利用することで、患者さんは「専門病院である広島記念病院と繋がっている」と感じ、そして聞ききれなかった質問などを私たちにすることでより安心することができます。当院で患者さんにころネットへの登録をお伝えすると、すべての方が喜んで希望され、病診連携に大きな期待をいただいている証であると実感しています。実際の運用もネット回線経由であるものの、比較的スムーズに作動おり、ほとんどトラブルを経験することはありません。そして「ころネット」を使い始めて、使い勝手について感じたことを記念病院の担当者にお伝えすると、すぐに対応していただき、これまでに幾度かバージョンアップされ、よりユーザーフレンドリーなシステムになってきています。

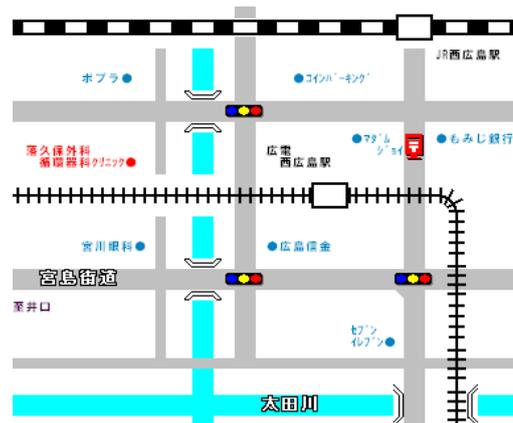
今後高齢者社会の進展により診療機能の明確化が求められ、病院診療所連携はより重要となると予想されています。地域包括ケアシステムの中で、医療のみな



らず、介護との連携も、ICT 環境を利用したクラウド上に共有カルテを構築される世界も、現実的なトライアルとして試されてきています。今後地域における多くの疾患のゲートキーパーを担う私たちかかりつけ医と専門的治療及び緊急対応が可能な広島記念病院が、診療情報の共有を通じしっかりと連携することにより、多くの地域の安心に貢献できると思っています。今後「こころネット」にたくさんの先生方にご参加いただき、より有効に活用できるネットワークシステムに成長していくことを望んでいます。

## 落久保外科循環器科クリニック

診療科目：外科、循環器科、消化器科、呼吸器科、リハビリテーション科



広島市西区己斐本町3丁目2-8

電話：082-271-4733

<http://www.ochikubo-clinic.jp/>

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

午前 9：00～12：30          午後 14：30～18：00

休診 木・土の午後、日、祭日、盆休、年末年始

\*\*\*\*\*

## 「KKR こころネット広島」について

地域の連携医療施設（診療所等）と当院の間を安全なネットワークで結び、承諾をいただいた患者様のみの医療データを公開するシステムです。

平成23年3月より運用を開始し、平成24年3月末現在、30の医療機関様が加入され、約400名の患者様のデータを公開しています。

「KKRこころネット広島」へ加入、説明希望の医療機関様は事務局（地域医療連携支援室または医療情報室 担当者）までお問い合わせください

代表電話：082-292-1271

# 病院周りの構注意サイン(駐車禁止等の看板)の

## 新調および植え込みの整備について

用度施設課 戸山 直樹

平成 24 年 5 月に、経年劣化で傷んでいた病院周りの外構注意サイン(駐車禁止等の看板)12種 23 枚を新調しました。また 6 月には正面玄関前の花壇にオタフクナンテン 128 本を植え替えました。



## 防災訓練に参加

看護部 西岡 美香

今回防災訓練に参加させていただき、これまでの防災への意識の不十分さに気付きました。

これまで災害時の状況等について漠然としたイメージしかなかったのですが、病棟火災のビデオを見たり煙の中を進んだりしたことで、実際に病棟で火災が発生してしまった場合を想像することができました。動転している時に冷静に適切な行動をとることは難しいと思いますが、今回のように災害について考え、備えることによってできることは変わってくると思います。

これからも今回の訓練での学びを忘れず、万が一火災等が起こった時に患者様に安全に避難していただけるよう、自分の役割を認識し、備えていきたいと思っています。

## 放射線科

放射線科主任 加藤 雅士

放射線科は、放射線科専門医 1 名、診療放射線技師 5 名、受付 1 名で業務を行っています。



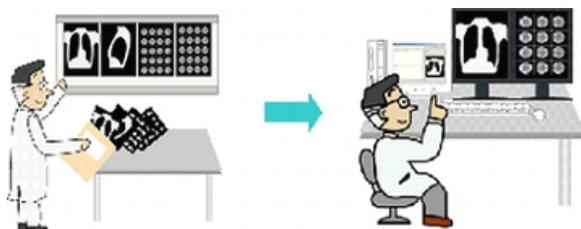
○ 業務内容：

- ・ 一般 X 線撮影
- ・ X-TV (透視)
- ・ CT
- ・ MRI
- ・ DSA (血管造影)
- ・ 病棟ポータブル撮影
- ・ 乳房撮影 (マンモグラフィ)
- ・ 骨密度検査 (骨塩定量)

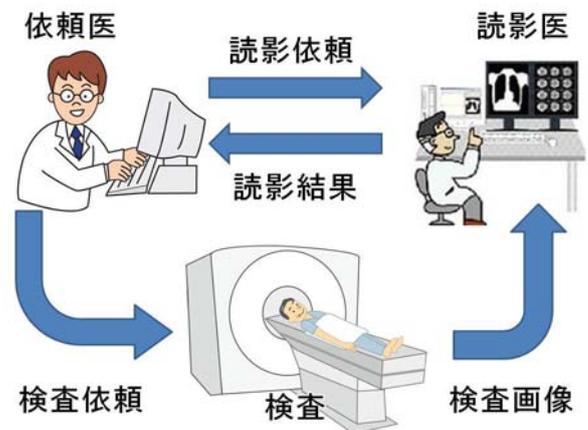
など多岐にわたる撮影業務に従事しています。放射線科専門医は主に上記撮影機器より発生する画像の読影業務となっています。

一昔前までは、放射線科における主な業務は撮影行為及び撮影後のフィルムの管理でした。ところが昨今の電子カルテに代表される医療のデジタル化と同様、当科においては X 線フィルムの管理業務が無くなり、デジタル画像の保存、その管理、及びそれに関連する電子機器（サーバー類）の管理へと移り変わってきました。

また本業である撮影行為自体も基本的なところは従来と変わらないのですが、新しい撮影技術等が次々と開発され、そのたび習得するのに余念がありません。



もう一つ重要な業務として、医療従事者の被ばくの管理があります。東日本大震災における福島第一原発事故も記憶に新しいところですが、その当時マスメディア上を踊っていた被ばく量の単位がありま



す。以前より当科でも同様の単位を駆使し、分析したうえで放射線業務に従事する医師や看護師さんの被ばく量を管理しています。

○ 新しい試み：

7名という小規模な部門ですが、各個人が各検査室に赴いて従事している関係上、勤務中にコミュニケーションを図る時間が少なくなってきました。それを打開するため、既設のPC及びネットワークを利用して情報共有システムを独自に開発し、放射線科内で情報共有WEBサイトを立ち上げ運用しています。現状は記念病院と周辺診療所との病診連携に伴うCTやMRIの検査予約状況の確認をメインに使っています。今後は各検査の最新トピックスや最新の撮影技術など電子化したものを放射線科部門サイト上にアップし、放射線科専門医及び診療放射線技師同士の業務に絡んだ情報共有を図っていこうと思っています。可能ならば、院内全体に向けて当部門からの情報発信へと繋ぐことが出来ればと考えております。

2012年4月より、主任技師が2名任命されました。他部門からの窓口的な存在になればと思います。



## 地域医療従事者研修会 （平成 24 年）

### 4 月地域医療従事者研修会

日 時：H24 年 4 月 26 日（木）19：00～20：15

テーマ：「ちょっと気になる腸炎のお話」

～広島記念病院での 9 年間～

講 師：広島記念病院 診療部長 隅井雅晴

参加数：院外 17 名、院内 50 名、計 67 名



今回の地域医療従事者研修会は「ちょっと気になる腸炎のお話」で、広島記念病院診療部長 隅井雅晴を講師に研修会を開催しました。広島記念病院での 9 年間の経験事例を交えて、分かりやすい講義でした。

- ① 炎症性腸疾患の中で非特異性の「潰瘍性大腸炎」と「クローン病」の患者数・地域分布・保険・臨床所見・治療の推移について
- ② 潰瘍性大腸炎の 5ASA・ステロイド・免疫調整剤・血球成分除去療法について治療上の注意点について
- ③ クローン病のトップダウン療法の大切さとレミケードやヒュミラの具体的治療法と副作用等について
- ④ 患者の妊娠出産について当院での経験を踏まえた報告
- ⑤ 難治性潰瘍性大腸炎の手術適応を当院の外科との連携で行った事例の所見を踏まえた報告
- ⑥ 頻用薬剤の注意点：PPI 製剤・エリスロマイシン

以上の講義終了後は、活発な質問が続いた。

広島記念病院での 9 年間では、右肩上がりの患者数であることから、今後ますます適切な治療を多くの患者様に提供することが、患者の QOL に貢献できることに繋がることが理解できました。外科との連携は緊急に対応できる当院の強みであることが参加者に理解していただけたと思います。

研修後の声に医療従事者として積極的に関わりたいという人がいたことは大変すばらしいことです。また、学生を含め若い世代の患者が多いことから、治療をしながら生活する患者を支える医療が求められています。大病院では出来ない土曜日診療・治療をすることで患者を支えたいという、医師としての使命感が伝わってきた研修会で医療者の心に響く時間になりました。

### 5 月地域医療従事者研修会

日 時：H24 年 5 月 17 日（木）19：00～20：15

テーマ：「免疫細胞療法を用いたがん治療の実際」

講 師：医療法人つかさ会

高橋メディカルクリニック

高橋 司 先生

参加数：院外 17 名、院内 41 名、計 58 名



研修会は「免疫細胞療法を用いたがん治療の実際」

医療法人つかさ会 高橋メディカルクリニック 高橋 司 先生を講師に研修会を開催しました。

一般的に言われているがん治療の標準治療には限界があり、「もう有効な治療がありません」と告げなければならないことがあります。その様な中、患者さまを苦しめない、最後まであきらめないことを支える進行がんの治療法の講義をして頂きました。

身体を守る免疫のしくみから具体的治療の内容を分かりやすく説明していただいた。患者さん自身の細胞を活用し、患者さんに最適な治療を分子レベルで見極めて治療を行う、「免疫細胞ワクチン療法」の具体的方法と標準治療との併用について事例を交えたお話しでした。患者さんを支える治療方法は、いろいろあることを再認識することができました。正しい情報を得て、ひとり一人が選択する時代ですが、公的保険対象の治療なるには、統計学的エビデンスが確立する必要があり最前線医療の費用の問題も課題としてあります。

以上の講義終了後は、紹介するタイミング等活発な質問が続いた有意義な講義でした。



## 6月地域医療従事者研修会

日 時：平成 24 年 6 月 25 日（木）18：30～19：40

テーマ：「医療メディーエーション」

講 師：厚生中央病院 医療安全管理担当院長補佐  
日本医療メディーエーター協会シニアトレーナー  
荒神 裕之先生

参加数：院外 44 名、院内 48 名、計 92 名



今回の地域医療従事者研修会は「医療メディーエーション」で、日本医療メディーエーター協会シニアトレーナー荒神裕之先生を講師に研修会を開催しました。

対話を通して医療事故、医療紛争にならないような関わりについて、通常 2 日間の研修内容を 1 時間でエッセンスをお話して頂きました。

### メディーエーションの基本になる考えとして

- \*医療訴訟は、お金での解決が馴染まない性質のものである。患者様が被害者ではあるが、実は、それに関する医療者も被害者である。
- \*トラブルを封じこめるのではなく、双方間の対話を促進し、自分たちの手で合意形成できるように関係調整をする中立第 3 者として、当事者の会話を促し合意形成へ導くしくみである。
- \*心の中に対話姿勢を持つセルフメディーエーションについて等を説明して頂いた。

以上のことを踏まえて、

私達が日々陥りやすいことを、臨床現場の具体的な内容を通して説明されました。

患者様からは、ドアの向こうはみえていないことを理解



し対応することが必要である。また、人は思いこみがあることを、“センター”から何が浮かぶか？の問いを通して、分かりやすく説明がされました。センターから考える答えは人によって違う。このことから、合併症の解釈も人によって違うことが普通であることが納得できました。情報提供や説明には、ズレが生じること、医療・病院の常識が、世間の常識ではないことを最初から認識しておけば、ズレを埋める姿勢で関わるができる。

また、患者の怒りが表出するまでには、そこに至るまでの経過があり、結果だけの対応では解決できない。閉ざされたシャッターは、より強く叩かれることから、共感的関わりが大切で、対応の基礎知識を説明して頂きました。



今回の研修の学びを実践していくには

メディエーションの概念を理解し、職員間のコミュニケーションと管理者の役割が大切です。

地域医療者の多くの参加があり、あっという間の1時間でアンケート結果の満足度も高かった。知識を深める研修案内もあり、さらに学びたいと思う研修でした。

## 7月地域医療従事者研修会

日時：平成24年7月26日（木）19：00～20：20

テーマ：「当院における嚥下障害に対する取り組み」

講師：広島記念病院 外科医師 矢野 雷太

看護師 藤井裕子

NST委員会

参加数：院外48名、院内37名、計85名



今回の地域医療従事者研修会は、「広島記念病院における嚥下障害に対する取り組み」をNST委員会企画で、外科医師の矢野 雷太 看護師の藤井裕子が発表しました。

日本人の死因の第4位である肺炎の中で、誤嚥による肺炎は他の肺炎と違うことを確認した。誤嚥性肺炎で入院中し、抗生剤、酸素吸入の肺炎の治療をし、嚥下機能評価・訓練し退院したとしても、このことだけでは、再発が防げない。では、再発させない為には、常勤の耳鼻科医師や言語聴覚士、摂食嚥下障害看護認定看護師がいない当院では、どんな取り組みをしているか具体例を提示し説明されました。

- ①まず、嚥下障害の概論の中では、「安全に・楽しく口から食べる」を目指すことを目標にし、食べることは人としての楽しみであることを大切に考えている。
- ②嚥下障害の実際の中では、ビデオを使って3つのタイプの説明をし、誤嚥の実際を視覚で確認できた。
- ③嚥下食では、誤嚥防止と咽頭残留物の除去を目的にした嚥下食ピラミットの沿った当院の食事の紹介があった。

以上の基礎知識の講義の後、当院の実際の取り組みを報告しました。

嚥下食と嚥下検査食の改定 K スプーンについて



摂食・嚥下障害スクリーニングテスト 第1段階～だい4段階についてについて説明、その後、当



院での実際の事例報告を藤井看護師が行った。

患者は入院中のみのケアだけでは、再発することから、退院後の生活を見据えた退院指導・施設間連携が大切であることを、実際の調査結果から講義されました。入院中に、嚥下機能食事形態が施設により異なっているということを、各施設が認識し連携を図ることが重要です。

## 親和会 野球観戦

庶務課 杉浦 和弥



平成24年5月31日(木) 親和会行事として、マツダズームズームスタジアムのパーティーフロアで、野球観戦を行いました。人気のパーティーフロアからの観戦は、個人ではなかなか予約が難しい座席だけに、例年大変好評を集めている企画です。職員だけでなく、その家族や親族の方々も参加していただける企画ですので、毎年楽しみにしているよ、と声をかけて下さる方もいらっしゃいます。今回は西武ライオンズとの交流戦ということもあり、39名の参加がありました。中井院長・桐山事務部長・江村看護部長・御厨看護次長も揃って参加していただき、

また試合もカープが勝利し、とても盛り上がった1日でした。



平成24年7月6日(金) 今年2回目のマツダズームズームスタジアムでの野球観戦を行いました。

今回はラグジュアリールームという、パーティールームの中でも特別なフロアからの観戦です。(前述のパーティーフロアは大小合わせて複数の半個室の部屋ですが、ラグジュアリールームは毎試合1組限定の完全個室です!) しかし、この日は朝から雨が降っており、夜にかけて大雨になるという予報…。なんとか小雨の中で試合が始まり、なんとかこのまま天気が続いてほしいなあと考えた矢先、2回の表で、突然の

局地的な大豪雨。そのまま雨は降り止むことなく、残念ながら試合中止となってしまいました。

今年度、親和会野球観戦は残すところ、あと1回。8月23日(木) ラグジュアリールームから DeNA 戦の観戦があります。スタジアムを見下ろしながら、みんなで楽しく食事ができるパーティーフロアは全国的にも大変珍しく、野球はあまり好きでない方やカープファン以外の方にもオススメです。ぜひ一度参加してみてください。



# 本川小学校 手洗い講習報告

中央手術室 感染管理認定看護師 中野隼

平成 24 年 6 月 7 日(木) 地域保健活動の一環として本川小学校にて手洗い講習を実施しました。

新たな試みとしてこれまでパワーポイントを使用していたところを、手洗いの必要性を訴えた「寸劇」を取り入れました。児童は皆、静かに興味をもって見てくれました。劇終了後に確認の質問や声掛けをすることで理解度を確認することができました。児童は手洗い・含嗽・咳エチケットの必要性を理解、習慣化し正しく実施することが重要であることを理解してくれたと思います。



手洗い演習では、昨年の教訓を生かし手洗い石鹸を変更しました。昨年はシャボネット (泡タイプ) を使用しましたが、手洗いミスする児童が多く見られました。要因として泡で遊んだり、泡の触感からこすり合わせる動作が不十分になってしまったと考察しました。そこで今年度は小学校で使用し、児童が普段より使い慣れている「固形石鹸」を使用しました。固形石鹸は泡立てが必要であり、一生懸命こすらなければなりません。結果、今年度は手洗いミスは大幅に軽減しました。今後、泡タイプ石鹸ではしっかりと手をこすることを説明しなければならないと感じました。

また本川保育園から入学してきた児童も多く、私たちの保育園での活動を覚えており手洗い、咳エチケットをすでに正しく実施できる児童もいました。このことから継続教育・活動の効果を確認することができました。

担

当者も児童と一緒に楽しく学習し過ごしました。



# 広島記念病院「理念」「憲章」

## 理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

## 憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

### 地域医療連携室

TEL 082(503)0730  
FAX 082(503)1010

### 代表 広島記念病院

TEL 082(292)1271  
FAX 082(292)8175  
庶務課  
TEL 082(503)1001

### 内科・外科

FAX 082(503)0722  
産婦人科・小児科  
FAX 082(503)0723  
耳鼻科・皮膚科・泌尿器科  
FAX 082(503)0731  
4病棟  
FAX 082(503)1014

### 5病棟

FAX 082(503)1015  
6病棟  
FAX 082(503)1016  
7病棟  
FAX 082(503)1017  
8病棟  
FAX 082(503)1018

## 外来診療担当表

平成24年4月1日現

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土	
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	日高	隅 井	隅 井	津 賀	当 番 医	
		二 診	江 口	田 村	津 賀	江 口	田 村		
		三 診	炭 田	児 玉	炭 田	児 玉	山 本		
総合診療科	8:30~11:00		横 崎		串 畑		休 診		
外 科	8:30~11:00	一 診	藤 本	中 井	藤 本	宮 本	中 井	当 番 医	
		二 診	宮 本	横 山	坂 下	横 山	坂 下		
		手術	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術		
	13:00~14:30		藤 本	中 井		中 井			
			手 術	手 術	手 術	手 術	手 術		
産婦人科	8:30~11:00	一 診	中 野	中 野	中 野	吉 本	中 野	休 診	
		二 診	吉 本	羽 原	吉 本	羽 原	吉 本		
		一 診	羽 原	手 術	中 野	手 術	吉 本		
	13:00~14:30		二 診						
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸		
		13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約)	1ヶ月健診(予約)	予約検査	予防接種	
		14:30~16:00	一般診療	藤 井	藤 井		岸	石川、又は小林	
耳 鼻 咽 喉 科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		立川、又は石橋		
		二 診							
皮 膚 科	8:30~11:00		河 合				森 桶		
泌 尿 器 科	8:30~11:00			井 上			宮 本		
眼 科	8:30~11:00	初・再診	戸 田	藤 東		藤 東			
歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	294-7858 広島記念診療所	
				香 川			堀		
			山 田	山 田	山 田	山 田	山 田		

\* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。

歯科を除く各科とも再診は7:30から受付けています。

■部分は女性医師です。

## 広島記念病院案内図



### 交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分  
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分  
広島駅前よりタクシーで約10分

### 駐車場

立体駐車場72台、平面駐車場10台  
身障者専用駐車場3台

詳細は病院ホームページをご覧ください